

秋田市地球温暖化対策実行計画（素案）への事前意見一覧

【第2章関係】

No.	頁	意見の要旨	市の考え・対応
1	24	図2-2の表題に「総排出量」とあるが、図中には表れていない。	■差替え(24頁)■ 国・県・市を比較できる図又は表を追加し、本市の排出内訳は、県と異なっており、国と類似していることを示す。
2	24	説明文中に「本市と日本全体の温室効果ガスの排出状況を比較」とあるが、本市のデータはどれを見れば良いのか分かりづらいと感じる。	
3	24	説明文中に「排出内訳が類似」とあるが、この内容をここで説明する必要性を示してほしい。	■差替え(28頁)■ 第3章の対策効果では、本市と温室効果ガス排出構成が類似している国の取組を参考としているため、この頁で説明している。ただし第3章に、その説明がないため、追加する。
4	24	図2-2（日本の温室効果ガス総排出量）を記載した理由とその説明を再検討する必要があるのではないか。	

【第3章関係】

No.	頁	意見の要旨	市の考え・対応
5	28	表3-2（温室効果ガス排出量の将来推計（対策ケース））について、削減目標等は県が現在策定中の「カーボンニュートラルポート形成計画」と連携やすりあわせが行われているのか。	本市も秋田港部会にオブザーバー参加しているため、情報収集に努め、可能な限り整合を図りたいと考えている。
6	29	「5 その他の目標設定」に記載の、「再生可能エネルギー導入量を398MWまで増加」の算出根拠を示してほしい。	■当日差替え(29, 30頁)■ 算出根拠を追記する。

【第5章関係】

No.	頁	意見の要旨	市の考え・対応
7	36	「2 基本方針ごとの目標」に記載している、「新築の住宅のZEH率」を2030年度までに100%にすることを根拠を示してほしい。	国が「地球温暖化対策計画」に記載している「住宅の省エネルギー化」で掲げている目標と整合させたもの。この目標は、建築物省エネ法の改正を根拠としている。
8	37	1-1(5)に記載の「第三者所有モデル」は、新しい考え方と思われるため、もう少し丁寧な説明が必要と考える。	73頁に詳しい用語解説を掲載している。そのことが分かるよう用語の後ろに「※」を付けることとする。他の専門用語も同様とする。
9	37	1-1(7)に記載の「脱炭素先行地域」については、本計画の目玉となる対策・施策であるため、具体的な取組を追記し、説明に厚みを持たせた方が良いのではないか。	■差替え(14, 37頁)■ 14頁に具体的な内容を示し説明を追加するとともに、37頁でそのことがわかるように参照頁を追記。

【資料編】

No.	頁	意見の要旨	市の考え・対応
10	70	「カンクン合意」の説明分の「発展途上国へも排出削減への歩み寄りが見られる。」とあるが、意味が不明瞭と感じる。	■差替え(70頁)■ 文言を修正する。

【第1、4、6、7章関係】
意見無し